



碩  
醫  
鈔

廿七

十四

武
534
14

十四



武門  
第94  
卷

頌醫抄卷第廿七

性全集



婦人一

婦人論

ヨリ多テ故ニ病ヲナスコト又倍セリシカノミナラス嫉妬憂恚  
 慈悲増愛執着メ心ヲサフク莫カナハスシテ病ヲナスニ根フカシ  
 是ニヨリテ療スル莫其カメシ況ヤ懷妊ハ婦人ノ大憂也モシ一時  
 調護ニシラキ時ハ母子共ニアヤウシホトク卯ヲカサ子タル如シ  
 豈輕クイルカセニスヘカラス凡男子ト同キ病ハ諸方ニシヘ  
 ノセタリ  
 又心ヲ以テ計ヒアテカヒテカヒニ通用スヘシ旨

ト男子ニコトナリ病ヲアケテ治方アカムヘシ

調經門

○月水論第一

岐白云女子ハ七歳ニシテ腎氣サカリニ

シテカハリ髪長クシテニ七十四歳ニシテ天癸始テキタル天癸ハ

月水ヲ云也 任脉衝脉トテ女ニハ二ノ血脉アリテ男子ニコト也

衝脉ハ血海トテ血ヲタ、ユタル海ナリ 任脉ハ胞胎トテ子ノヤトル

所、此ノ二ノ脉共ニ腎ニカス腎ヲヨクサカリナレハ衝任ノ二脉

流通メ經血滿盛ニシテ時隨テ下ル三十日ニ一度見ユルニ二月

更トモ又月經トモ月水トモ云又天然タル水ナレハ天癸トモ云也

月ノ盈テハカクルニカタトル故ニ三ノ盛ニシテ即チアフレテ下ナリ

是ニ依テ月水ノ時ハツ、ニ三守莫産ノ時ノ如クニスヘシ此時病ヲ受

ツレハ輕ハ宿病トナリ重昂死ニ至ルツ、ニシサルヘケンヤ蓋驚時ハ

即チ血氣錯乱ニシテ 經脉トコホル身ニ逆ハ即チ血分旁瘡等

病ヲナス若志如怒スレハ昂氣上ル氣上ハ昂チ血トニリ腿ニ塞テ昂チ

月水ノ行セントスル時即チ苦痛ス此血氣、モル頭腹心肺背脈ニ上リ

トコホルハ月水行セントスル時イタム也若怒テニハ肝ヲラフナウ即

チ腹目クルメキワキノ下甚シケレハ血ヲ吐又瘰癧腫等ノ病ヲナス

凡月水時風ニアタルハ風ヲヤミ冷ミヲカサルハ冷ヲヤム仍日水ノ前

後中間ニズ脈立イカリ物ヲ憂歎風寒暑温ヨロツノアシキ夏ヲ  
ナスヘカラスヲカス時ハ少ニシテ秋毫ノ如クナレトモ病ヲ感ルコト重  
キ夏山岳ノ如シ凡ツシニサランヤ

月水不調論第二

○夫月水不調ナル夏ハ血氣ヲ勞傷スル依テ身虚ケル風冷是  
ヲ侵故衝任ノ二脈ト、柔リ損スル也衝任二脈ハウヲモテノ如  
ニシテ懷妊スル時ハ此血ト、子ノ血肉トナル子ヲ生シヌレハ乳汁  
トナリテ或ニ三年月水ト、ニリテ下ラス陰陽ト、ノヲリタル時ハ此  
二脈ヲサニテ月水時ヲ定テ下ルモシ陰陽冷弊不調ナルハ二脈

損シテ月水定ラズ若陽氣スキヌレハ月ノ始ニ月水下ル若陽  
氣不足ナルハ月水月ノ終ニ下ルモシ弊氣過ヌレハ血トケテ  
月水忽多シモシ寒冷ノ氣過ヌレハ血凝トテ月水忽ニ少シ  
又極弊ノ人ハ崩中トテ際ナリ月水下ル極寒ノ人ハ閉塞  
トテ月水トニルタトハ天寒スレハ地凍水凝テ氷トナルカ如シ  
天弊スレハ氷又トク血トケコト是ヲ以テ知ヘシ如此定サルヲ  
月水不調トハ云々加減呉茱萸湯衝任ノ二脈ヲトロヘヨハ  
クシテ月水定ラス或ハ月ノ前或月後或崩漏トニテスモシ  
ハ赤白帶下トテ白ク赤クニシハリ下リ小腹ツリ痛三月

水下ラシスル期ニ頭重ク目クルキ飲食減少シ胸カカレハ  
夕ヘシケヤセ息短クルシムヲ治ス

呉茱萸羊々 麦門冬去 乾姜 白茯苓 牡丹皮心ヲステヨ

高木香心ヲステヨ 枳椇三々 耳中三錢 羊半 當飯羊々

細辛一錢 防風 官桂各一分 羊半 羊七錢 ユニテ 七五 洗

右細剉合テ毎服四錢水蓋半生姜二片棗一八テ  
七分ニ剪メ滓瀝テ空心ニ温テ服

○桃仁散 月水不調ニシテ或淋瀝不断トテ月

水不断ニ少ツ下リモアリ時々トニレトモ常ニ多ク下

シ身体手足ヨハクシテ食スル莫ク又腹中カタニリ

イタニ滿テ行動スル事アタハス月水又月前月後若

八月ヲヘテ留リ身重ク夕、眠ム莫クコニ酸物ヲ好シ食

スルヲ治ス 桃人皮ヲムケ 耳草 羊半 各一々

赤芍薬 生地黄各三々 澤蘭葉 牛膝 當飯

アララ去 桂心アラカラ去 牡丹皮心ヲステヨ 人參 蒲黃

川芎各三々 右細剉合テ毎服二錢若ハ四錢ノ量サ水一

盞半ハシカニ三片入テ七分剪メ滓ヲ瀝テ温テ空心

服セヨ久服メ効アリ

月水不通方論第三

○夫月水不通ナル夏ハ血氣シ勞傷スルニ依テ躰ウツケテ  
風冷ノ氣ヲウクルニ依テ血法結テ月水行セサル也人シ  
ケレハ血ウチヨリカタニリテエクレノ如ク也血凝トモ血癥凡  
テリテ年月ヲヘテ瘦ツカレテ死ル也脾疾ウツケヌル故ニ血  
水フサカリテ後水腫トナル也又或吐血シ及大便ヨリ  
血ヲ下ス夏多ケレハ血尽シテ月水不通ナルコトニ是ヲハ血  
枯ト云コレハ血ヲクサムル藥ヲ服ヘシ

○當飯散 月水不通ヲ治 當飯 川山甲 イリコアセ

蒲黃 各半匁 辰砂 一錢 麝香 半錢 右細末 每服二錢 温  
酒ニテ若酒ヲ飲ガル人ハ荷荷ノ剪物ヲ少シ入テカキ立テ  
服スヘシ 甚効アリ

○琥珀散 月水トニリ心曠迷悶腰腫ツカムカ如ク痛  
ク氣セメツムルヲ治ス 烏藥 二匁 當飯 一匁 蓬莪木 各一匁

右細末 每服二錢 温酒ヲ以テ食前服セヨ 大ニナニクツメタ  
キ物ノアフラケノ物ヲ食スル夏ヲ忌ムモニ産后ノ諸病ニハ  
生姜ヲヤイテ酒ニ入テアタメタルニテ服セヨ

○又方 厚朴 一匁 艾葉 一匁 艾葉 一匁 艾葉 一匁 艾葉 一匁  
アフラ皮ヲケツリステ、コニカニキサミテ生姜ヲツキシホリ  
テヒシタシテ一宿シテトリイメシテアフリカワカセ

石毎服四五錢水一杯半入テ六七分ニ剪メ滓ヲ海テステハ  
空心ニアタカニテ服セヨ 此藥梅師方ニ出セリ既ニ心乱

タルニ驗アリト云ヘリ月水ノ不通ニハ最上ノ方ナリト云ヘリ

○方病月 月水トニリテ暗ラメグリテ痛ク筋ツリ痛ミ

及産后ノ惡血下ラス血氣不調ニハ腹中ニカタニリ散セス及

瘕等ノ病ヲ治ス 乳添 研碎キテ工器ニ入テ烟ノ立ヤムニテイリテ  
取出メサニテ末セヨ 一匁

牛膝 一匁 アウラステ、到テ酒ニヒタメ一宿  
トヲ出テ炙カハカセ 右細末メ生地黃汁ヲツキシ

ホリ一盃ニ入テ石鍋ニテヨクク子リツメテニロメツヘクイリツメテ

○是程ニ丸メ空心ニ毎服ニ丸三丸ヲアタメタル酒ニテ服セヨ

日ニ二三服數ヲニスヘカラス

○道遙散 婦人ノ一切ノ病ヲ治ス

白茯苓 當飯 柴胡 白芍藥

白朮各一匁 甘草 アフル半匁

右細剉合テ每服ニ錢水一盃ハシカミ三ヘキ薄荷葉

少シ入テ七分煎滓ヲ海テアタメカニテ服ヨ時ヲ定ス

○通經丹

婦人ノ月水不通及室女ノ月水トニリテイワレ疝腹痛ニ

或ハ血ハラニアルヲ治ス

桂心 アラ皮ヲケワリステヨ 青皮 ウラヲコソケステ、小麦ノカスニニセ  
テイリカハカセ

大黃 アツハイニムスナリ 蓬莪朮 ムイテキレ 川烏頭 炮メカハハリヲ去

乾漆 ククキテイサテケムリノタチヤムニテイリ  
テココシテスレ 當飯 カラヲ去テヨ

桃仁 乳姜 各等分

右細末シテ四ニワケテ

一ヲ酢ヲ以テイリテ子バツトアル時 ノコリノ莖ヲニセテ

ヨククツキアハセテ ○是ホドニ丸メテホシカワカシテ

毎服二十九カエリ湯ニ醋ヲ少入タルニテ服セヨ温酒ニ

テ服スルモヨシ空心食前ニ服セヨ 又室女ノ

月水トニリタルニハ青蒿等ノ冷藥ヲ与ヘカラス血コリ堅リ  
テ弥通セサル也

○澤蘭湯 室女ノ月水不通ヲ治 澤蘭 三匁

當飯 芍藥 各一匁 其中 羊匁 右細ニ割合テ毎服三

四錢水ニ盃入テ一杯ニ煎メ滓ヲ漉テ温服ヨ

○却勞散 心腎共ニウツケテカレ 咳スル或ニ声

三声ツシ夜ハ身おトヲリスル或散スレハ昂ヒハ身ノ毛立ヨル

盜汗タリ夢多見シハフキニテ痰ヲ吐ニツハキノ中ニ紅練トテ

赤キ血筋アリ肺腫ト名ク漸身ヤセツカレ 傳屍病ニ似タリ



此藥是ヲ治ス 白芍藥六分 黃耆 其中 人參

當皈 半隻 白茯苓 熟地黄 五味子 阿膠

各二分イリテ 右細剉合每服三錢水一杯半ハシカミニ片

棗三八テ九分剪入時ヲ定ス温テ日ニ二服ヨ

陳總領カ云揚鼠カ女算スルヲヨムテ病證甚厄シ一年ノ

間ニ百夢トテ心ニル知ル夏ナシタラノ名醫ニアヒテ此方ヲ

正テ只一劑ヲ服スル其根ヲノソクヨテ此方ヲ銀シテ人ニツタフ

○牛膝散 婦人ノ月水トニリテ不快脘腹ツリ痛ヲ治

牛膝一分 桂心アス皮ヲケツリ去 赤芍藥 桃仁湯ニヒタメカワラ

延胡索 當皈皮ヲ去ヨ 牡丹皮心ヲ去ヨ 川芎 木香各三分

右細末每服二錢温酒ヲ以食前ニ服セヨ

月水或ハ行シ或不行賜刺病第四

○夫レ婦人ノ月水下ラムトスル時腰ハラノサシツクカ如ク痛

夏ハ氣血ツカレヤフレテウツケヨク故ニ風冷ノ氣是ヲ

オカシテ衝仕ノ二脈ノ間ニコリカタニリ風冷ノ氣血ト相

戦ウタヘニ苦痛ハハタシ也血ハ是心也血乱レ擾ル故ニ心定

ズサレハ是ヲ血氣風冷タカウ故ト知ズシテ或邪氣ノ

ナヤニシ或鬼神ノタマリナムトテ祈スレモトヨリ血脈ヨリ

ラコリタル故ニアエテ効ナシ此受人コトニ此理ニトテ忽ケニ  
命ヲ失フカナシニサルベケンヤ況術祈禱ヲトメテ温經湯等  
藥ヲ与ヘシ

温經湯 月水咲ク下スレテ胸ノメクリテ痛ニ胸ノ両方

サレワクカ如ニヒラキ痛ヲ治 況必アルヲハ月水トコホリ

タル人ト知ヘシ 當飯尾ノカタラハ去 芍藥 芍藥

桂心 アラ皮ステチ 牡丹 心ヲ去 蓬莪朮 ムヒニチメ各五分 牙中

牛膝 各二分 右細剉テ毎服三四錢水一盃半八八分

煎テ滓ヲ漏温服ヨ

○桂枝桃仁湯 功能サキニ同シ

桂心 アラ皮ヲ去 芍藥 生乳地黄 各二分 桃仁 ムナハカリ 其中一分

右細剉合テ毎服三四錢水一盃半姜三片ナツメ一入テ一杯ニ

煎テ滓ヲ漏テ温服 日ニ二三服

○如神湯 功能前ニ同シ

延胡索 當飯 各五分 右細剉合 每服三錢姜三片水

一盃半入テ七分煎温服 陳氏方ニ桂心ヲホ分ニ

加モ痛ヲ効アリ 此處ハ甚効アリ立処ニ痛ヲ止日水

咲ク下ル

華撥 イラフ、カニキヤミ塩ニセテ 蒲黄、各五分、サイル、石細末、煨蜜ヲテ

○此程凡ノ毎服三四丸ツ、食后ニ米飯塩少入テカキメテテ  
服スヘシ必効アリ

月水不漸方論第五

○夫月水トフニ下リテ止サルコトハ是モ衝任ノ二水虚損セル  
ニ依テ血ヲ収ルコトアタハサルニ依テ血ヒコナクモリ下也是ハ微熱  
シテ損シウツケタル所ハ若熱ノ來ルニハニ血下ル註スル所風  
冷ノヲカス時ハ血コリカタニリテ下ラス風熱ノヲカス時ハ血ト  
ケテ下ル止ルト下ルトハ寒シト熱トノ故ハ源ニテ衝任ニ脈ノウ

ツケヨハキ故也 凡月水常ニ下リテ止ラサレハ身体面目皆赤ニ

黄ニシテ心ホレ物ヲスレシ子ヲ産サル也

○牡蛎肉 婦人ノ血海虚損メ月水止サルヲ治ス

牡蛎粉 赤石脂 ヤイテニ三度スニヒタセ 代赭石 ヤヒテニ三度スニヒタシテ

川芎 阿膠 ハクハクニイリテコニセヨ 當飯 鹿茸 キサミテスニヒタシテアセ

續斷 キサミテアセ 乾姜 各三分 其中一々 石細末 煨蜜ニテ丸テ

○是程ニ毎服三十九丸食前温酒ニテ服ヨ

○黄芩湯 月水ノ止ラサルヲ治ス 黄芩ニ五分

當飯 柏葉 蒲黄、各四分 生姜、二分 艾葉、一分

生乳地黄、二分 伏菟肝、二分 石細、剉令每服五錢水

二盃入テ七分煎滓ヲ漏テ温テ服ヨ

○又方日水ノ止ラサルヲ治ス 蓮蓬散 ハスノミナルヲトリアツメテホシタルナリ

右灰ニヤキテ毎服二錢ヲ温酒ヲ以テ空服服スヘシ必効アリ

又婦人ノ血崩心痛トテ日水下リスゴシ及産后ノ血下リ

過シテ心ヲ痛コト甚キヲ治ス 烏賊魚ノ腹ノ中ニ

アル星ヲトリアツメテホシカハカシテ少火ニテアフリコカシカヘリ

湯ニ醋ヲ少シ入テカキ立三錢ツ、服スヘシ竅上瘻ニ可秘

崩中論方第六

○夫崩中ト云ハ藏府虚損シ血脉ツカレヤフル、故ニ暴日水ヲ  
ビメ、シク下リ腰背痛也是發トケウツケヨハキ所ニ或ハ甚ノ  
天ニアツケアカリ或ハ身ヲ、ロニアメ、カニスルニヨリ以發スル故ニ  
ソ、ロニ血多ク下ル也小薊湯ヲ服ヘシ

○小薊湯

小薊 葉莖共ニツキシホリテ 生地黃汁 ツキシホリテ

白朮 羊夕キサメ

石件ノ三種ニ水一盃入テ半分煎メ滓ヲ

漏テ温テ服セヨ

○阿伽陀因

崩中下血ヲ治ス

胡椒

紫檀

鬱金

茜根

岩榴皮

是ハヨノ常ノ石榴ニハ異レモ血ヲト、ムルニ功アレハ用ヘシ

右ホ分細末メ以水ヲ合テ〇是程ニ九ヲ毎服二三九阿膠  
ノ煎物ニテ服ヘシ

〇熟艾湯 崩中下血ヲ治スル最上也

熟艾ニハトリノカモ  
ノホトニテ 阿膠羊女 乾姜一錢 右細剉合テ

水五盃モクサヨモキ 干姜ヲ入テ半分ニ煎メ后阿膠ヲ入テ

煎シカイテ二服ニワケテ温ニテ空心ニ服セヨ一日ニ服ハテヨ

キハメテ効アリシハ是ヲ服スヘシ

〇神應散 崩中下血不止ヲ治ス 桂心 右細剉

鍋ニ入テイリコカシテ灰トナシテ細末メ毎服一二錢コレヲ

ユニテ時ヲ定服ヨ

〇金華散 婦人ノ血室熱アリテニハカニ血ヲ下スコトヤ

ニス諸ノ薬ヲ服スルニ不効治ス 當飯 乾葛

延胡索 瞿麥穗 牡丹皮各ニ分 石膏五分 桂心別ニ

テ七錢半 蒲黃一分 葶藶仙七分半 右細末毎服二錢

水一盃入テ六分ニ煎メ空心ニ温服ヨ日ニ二服此藥ハ丹熱

スルニコトサラヨシ

〇縮砂散 崩中下血ヲ治ス極テ効アリ 縮砂仁

右土器ニテイリカワラカシテ細末毎服三錢ヲ米飲ニテ日

二三服セヨ

○如神散

婦人ノ崩中下血及白血長血ヲ治ニ極テ

効アリ

香附子

赤芍藥 各等分

右細末メ

毎服二錢水一盃塩一ヒ子リ入テ七分煎メ温服ヨ日ニ二三

服必効アリ

○又方

香附子

モヲヤキステ、イリコカシテ細末

右毎服二錢

ヲ温酒ニテ服ヨ二三服スルニ立効アリ 若血下事甚

クテ心ホレ目クラクナラハ三錢ヲ服ヨ米飲ニテ服スルモ好シ

許學士云下血止サルヲ治シ 又五色ノ惡物下ニ極テ好シ

凡香附子ハ血ヲタスケ氣ヲ調フ是婦人ノ仙藥ト云常ニ

是ヲ服スヘシ極テ効アリ

○養附丹

婦人室女ノ一切ノ血氣之經脈ノ不調脾胃ヲ

リ痛ニ面色黄ハミ衰ヘムナサキサワキカスクナク腹ヲクレワ

キノ下痛ニ頭重ク目クルメキ心地アシク飲食減少シ崩中

漏下白帶下及大便ニ血下リ及積聚癥瘕亦ニ通メ是ヲ

服スヘシ

香附子

右先モヲヤキステ、好醋ヲ以テ

ヨクク煮カワカシテヤカテイリ細末メ米ノ糊ヲ醋ヲ以子リ

テツキ合テ○此程ニ丸テ毎服三十丸ツ、米飲ニテ時ヲ定ス

眼へし 婦人ノ墮胎トテウミナカレラシテ平産セサルヲ治極  
テ効アリ 一方ニ艾ヲ加テニルモヨシ

赤白帶下方論第七

○夫赤白帶下トハ赤白相交テ下ル五藏六腑共ニツカレテ  
血脈ヨハツ或勞傷度々過クトテ男女トツク夏シケキニヨ  
リテ血海ツカレ損シ或ハ身ヲ苦ウレテヤスニサレハ身ヨハツツカ  
レ血脈ヨハツタユム時風冷血筋ニ入テタカウエニ血色変  
或ハ白或黒或青或黒豆ノシルノ如ク若ハ雨シタリノ色ノ  
如シテ是ヲ帶下云々 變スルハ赤色多シ冷スキヌレハ白色多

シ冷變同シ程ナレハ赤白等分ニ相交リ下也 故赤白帶下ト  
云也 帶トハ兼帶シテ下ルト云心也 凡帶下崩中ノ人ノ脈  
少ク虚滑ナルハ生モシ大ク緊ニ實シ數ハ死トシルヘシ 脈少ク  
細キハ生ヘシトシリ治スヘシ

○ 乾姜散

赤白帶下ノ年月久ク愈サルヲ治ス

乾姜 半匁

白芍藥 二匁

石各黃色ニ炒テ細末メ空心ニ

末飲ニテ毎服二錢ツク服スヘシ日ニ服セヨ

○ 又方

是ハ甚効アリ

干姜

芍藥

香附子 三匁

甘草 二匁

石各黃色ニ炒テ同ク細末メ空心ニ末飲ニテ毎

服二錢服スヘシ日二三度

○乳香散 赤白帶下ヲ治スル極テ効アリ

草蓐

一分皮ヲムキステ、乳香一二ロヨリヲルモ、コヲコ子タルニツ、ミテアツ  
灰ニウワミテウシムシコカシテ、ルモ、モケナシ、ミコニセラル、ホトコカシテ、ルモ、  
モケナカラ、ミナコニカニスリクセヨ

右細末、毎服二錢ツ、フルキ米ノ飲

ニテ服セヨ病重久キ物ハ三錢ツ、服スヘシ

○又方 婦人ノ血ノ下ル、夏止ラサルヲ治ス

乱髮

白毛、莢ヲモミテヨク、アカヲアラヒステ、右毎服空心ニ温酒ヲ以  
灰ニ焼テ細末セヨ

テ服ヨ

○又方 鹿角ヲ灰ニヤキテ細末セヨ右食前ニ温湯ヲ

以テ毎服二錢ツ、日二三服セヨ

○又方 桃仁、灰焼、細末、毎服二錢、温酒、以服、日二三度

○千金温經湯 婦人ノ三十六ノ病、腹ヲクシ、口唇カワ

キ、夕ニ發熱、下リ、日水不調、シテ久ク懷妊セス、及産シテ

年ヲヘテ如此ヤムヲ治スルニ甚効アリ

吳茱萸 三反

白芍藥

當歸

芎藭 各二反

麥門冬 心ヲ去ヨ

半夏 各二反

人參

阿膠 炙、灰ニテイリククテ

牡丹皮 心ヲ去

甘草

桂心 アラ皮ヲ去ヨ

右細剉、合テ、每

服三錢、水一盃、ハシカミ、丸、片、入テ、七分、煎メ、滓、漉テ、空心、食前



ニ温服ヨ此藥服センホトハ生冷ノ物及ナニ葱神

馬草菘ヲ忌ム

○又方 鹿茸酢ニヒタシテアズ 當飯 蒲黃半文炒

右細末毎服三錢モシハ五錢ヲ温酒ヲ以テ日ニ三服セヨ

○又方 帶下ヲ治スルニ最上也 芍藥セタイリコガシテクロカ  
ラシメス

右細末メ毎服三錢酒ヲ以テ服セヨ

婦人白濁白淫方論第八

○夫帶人ノ小便白クニヨリタルヲ白濁ト云ハ小便ニ淫精ニシ

リ下ルヲ白淫ト云是心腎共ニツカレヨハクシテ水火陰陽升降

セシテイタス所也其故ニ腎ヲツカラカシ損シタル故ニウツケヒ

ヘテ白淫下ル也 金鑿正元白淫ヲ治ス

五味子ウラノムシクツヲ  
拂スニテヨ 茯苓各四分 補骨脂酒ニヒタシテイリテ十五

巴戟 胡芦巴炒 肉蓯蓉各八分 辰砂別ニスリテ各二分

竜骨一分二分 右細末メ米コヲ酒ヲ以テ糊ニ子リテ合テ

○是程ニ丸メ毎服二十九空心ニ温酒ニテ服ヨ塩湯モヨシ

日ニ二三服

○秘傳玉鑿丹 小便白濁ニシテ膏ノ如クメ心氣ヲハク

面ノ色ツシクロク子リアハセメナ井カナキヲ治 茯苓四分

竜骨ニク 五倍子十六ク  
右細末、米粉ヲ水ヲ以テ子  
リテツキ合○是程ニ丸メ毎服四十九ツ、空心ニ塩湯ニテ  
服スヘシ此藥ハ性アタカレハ兵整ナラス大ニ神効アリ

婦人月水ノ期ヲ過方論第九

○月水或ハ三四月トニリテ下ス或ハ一月ニ二三度下リ膝膠ヒラ  
キ痛甚キヲ治ニハ 當飯散ヲ与ヨ 當飯散是ハ月

水時ヲ定メテトノホリ下也 當飯 川芎 烏藥

黃芩白朮 各半ク 山茱萸サ子ヲ去テミヲトリテ  
一ク半

右細末メ毎服ニ錢湿酒ヲ以テ空心食前ニ服スモシ午

足冷ハ黃芩ヲ除テ桂心一クヲ加ヨ

婦人ノ血分論第十

○夫血分ト云病ハ婦人月水トニリタヘテ手足浮胞テ小便ト

コホリテ心ヨカラサルヲ是ヲ血滯トテ変テ水トナリテ皮ヘス  
チノ外ニニタレユイテハルユヘニ血分ト云也水ノ分ト云ハ月水

ハ留ラガレ凡本小便滯テ通セサル故ニ身面浮胞然右月水  
滯ル是ヲ水分ト云也少キ差別アリ能ク病者ニ同明テ

藥ヲ与ヨ血分ニ人參當飯田ヲ与ヨ水分ニハ葶藶田ヲ与ヨ  
○人參當飯田是ハ血分ヲ治ス 根本月水トニリタルニヨ

リテ后ニ小便滞<sub>ニ</sub>足<sub>ニ</sub>悉<sub>ク</sub>腫<sub>ラ</sub>血分<sub>ト</sub>イ<sub>フ</sub>大腹<sub>ニ</sub>水病<sub>ニ</sub>タリシ  
カ<sub>レ</sub>ラ此ヨ<sub>レ</sub>シ<sub>テ</sub>明<sub>メ</sub>ス<sub>レ</sub>テ水腫<sub>ノ</sub>治<sub>ラ</sub>ヌ<sub>ハ</sub>甚<sub>ク</sub>ア<sub>ヤ</sub>ニ<sub>リ</sub>也此<sub>ノ</sub>藥<sub>ヨ</sub>シ  
人<sub>參</sub> 當<sub>飯</sub> 大<sub>黃</sub>紙<sub>ニ</sub>包<sub>テ</sub>水<sub>ニ</sub>ヌ<sub>ラ</sub>シ<sub>テ</sub>ア<sub>ツ</sub>灰<sub>ニ</sub>  
ハ<sub>シ</sub>テ<sub>キ</sub>サ<sub>シ</sub>テ<sub>ア</sub>フ<sub>レ</sub>又<sub>飯</sub>中<sub>ニ</sub>入<sub>テ</sub>ム<sub>レ</sub>テ<sub>ヨ</sub>シ 桂<sub>心</sub>ア<sub>ラ</sub>皮<sub>ヲ</sub>去<sub>ル</sub>  
瞿<sub>麥</sub> 穂 赤<sub>芍</sub> 藥 白<sub>茯</sub> 苓 各<sub>半</sub> 分 葶<sub>藶</sub>各<sub>半</sub> 分 葶<sub>藶</sub>各<sub>半</sub> 分 ス<sub>リ</sub>テ  
右<sub>細</sub>末<sub>煉</sub>蜜<sub>ニ</sub>テ○是<sub>レ</sub>程<sub>ニ</sub>丸<sub>ヲ</sub>每<sub>服</sub>二<sub>三</sub>十<sub>丸</sub>ツ<sub>、</sub>米<sub>飲</sub>ニ<sub>テ</sub>  
空<sub>心</sub>眠<sub>ヲ</sub>

○葶<sub>藶</sub> 葶<sub>藶</sub> 水<sub>分</sub>ヲ<sub>治</sub>ス 是<sub>ハ</sub>本<sub>ノ</sub>小<sub>便</sub>ニ<sub>ツ</sub>ト<sub>、</sub>コ<sub>ホ</sub>リ<sub>テ</sub>后  
二<sub>月</sub>水<sub>ト</sub>ニ<sub>リ</sub>身<sub>面</sub>ハ<sub>ル</sub>ナ<sub>リ</sub>此<sub>ノ</sub>藥<sub>是</sub>ヲ<sub>治</sub>ス 葶<sub>藶</sub>各<sub>半</sub> 分 葶<sub>藶</sub>各<sub>半</sub> 分  
續<sub>隨</sub>子<sub>各<sub>半</sub> 分</sub>皮<sub>ヲ</sub>ム<sub>イ</sub>テ<sub>ス</sub>レ 乾<sub>茅</sub>竹<sub>ノ</sub>子<sub>ノ</sub>ホ<sub>シ</sub>タル<sub>ニ</sub> 右<sub>細</sub>末<sub>メ</sub>棗<sub>ノ</sub>肉

ニ<sub>テ</sub>ツ<sub>キ</sub>合<sub>テ</sub>○是<sub>レ</sub>程<sub>ニ</sub>丸<sub>ヲ</sub>每<sub>服</sub>七<sub>九</sub>ツ<sub>、</sub>竹<sub>葉</sub>枝<sub>ノ</sub>煎<sub>物</sub>ニ<sub>テ</sub>服  
ヨ<sub>モ</sub>シ<sub>下</sub>ラ<sub>ハ</sub>續<sub>隨</sub>子<sub>葶</sub>藶<sub>ヲ</sub>ハ<sub>一</sub>分<sub>ツ</sub>ニ<sub>テ</sub>白<sub>木</sub>半<sub>分</sub>ヲ<sub>加</sub>ヨ  
婦<sub>人</sub>ノ<sub>通</sub>用<sub>物</sub>惣<sub>藥</sub>方<sub>論</sub>第<sub>十</sub>一

○夫<sub>通</sub>用<sub>物</sub>惣<sub>藥</sub>ト<sub>云</sub>ハ<sub>婦</sub>人<sub>ノ</sub>一<sub>切</sub>病<sub>及</sub>產<sub>前</sub>產<sub>后</sub>懷<sub>妊</sub>ノ<sub>ア</sub>  
イ<sub>メ</sub>ヤ<sub>ニ</sub>イ<sub>シ</sub>テ<sub>治</sub>ス<sub>ト</sub>云<sub>古</sub>又<sub>ナ</sub>シ 今<sub>ノ</sub>惣<sub>藥</sub>ハ<sub>古</sub>ノ<sub>名</sub>醫<sub>聖</sub>人<sub>ノ</sub>  
ア<sub>テ</sub>カ<sub>ウ</sub>所<sub>也</sub>ト<sub>云</sub>ヘ<sub>ト</sub>モ<sub>ヨ</sub>ク<sub>機</sub>ニ<sub>隨</sub>ヒ<sub>人</sub>ニ<sub>ヨ</sub>リ<sub>テ</sub>或<sub>ハ</sub>ク<sub>ワ</sub>工<sub>或</sub>ハ<sub>陰</sub>テ  
用<sub>ヘ</sub>シ<sub>舟</sub>ヲ<sub>キ</sub>サ<sub>シ</sub>テ<sub>釣</sub>ヲ<sub>モ</sub>ト<sub>メ</sub>因<sub>ヲ</sub>用<sub>テ</sub>馬<sub>ヲ</sub>尋<sub>ヌ</sub>株<sub>ヲ</sub>守<sub>テ</sub>  
兔<sub>ヲ</sub>ニ<sub>十</sub>柱<sub>ヲ</sub>膠<sub>ツ</sub>ケ<sub>テ</sub>ア<sub>ハ</sub>ン<sub>夏</sub>ノ<sub>ソ</sub>ム<sub>ヘ</sub>カ<sub>ラ</sub>ス 四<sub>物</sub>湯<sub>婦</sub>人<sub>ノ</sub>  
日<sub>水</sub>或<sub>ハ</sub>月<sub>前</sub>或<sub>ハ</sub>月<sub>后</sub>或<sub>多</sub>或<sub>少</sub>腰<sub>腹</sub>中<sub>足</sub>ヒ<sub>イ</sub>ラ<sub>キ</sub>痛<sub>ニ</sub>

或ハ崩中漏下或半産トテ子ヲウミカケテ出ス或ハ惡漏多ク  
クタリ或ハ血下ヲスシテ腹痛ニ或懷妊ノ腹痛ニ血下リ胎  
ヤスカラス産后ニ血カタリテ魂ノ如シテ腹中ニアリテトケス  
或ハ己血過多トテ産后血多ク下ルヲ此藥通メ是治スル  
ニ神ノ如ク効アリ張声道カ云此方ハ婦人ノ百病ニタ、此  
四物湯ニ呉茱萸ヲ加テ煎メ服スルモトモスクレハタリト云ニ徐  
中明カ方ニ香附子ヲクワウモ好シ 當飯 白赤麩  
川芎 生乾地黄、アケレ 右第分剉合テ每服四錢水一  
盃半八テ八分煎滓ヲ瀝温テ食前服ヨ但シ地黄ハ

和劑方ニ、饗地黄ヲ用ト云ヘリ今此ニ生乾地黄ヲ用ル夏ハ  
本草云男子ハ孰乾ヨロシ女子ハ生乾ヨロシト云ヘリ今此ニ常  
ニ服セムニハ此四物湯ヨロシ日水ト、コホリ日中ニ血  
癥等ノ物カタニリ蓬莪朮官桂ヲホ分ニ加テ煎メ  
服ヨモシ産后ニ故血ヲ下シ新血ヲ生セムト思ハ  
本ノ四物湯生薑ヲ加テ煎服ヨ懷妊ノ間暖ウコ  
キテヤスカラス血下ラハ艾葉ヲ十葉ハカリ加テ煎メ  
服ヨ 又葱白根阿膠少ククワヘテ煎服ヨニ七日  
眼メ効アルヘシモシ氣ヨク血海不調ナラハ一月服メ

効アルヘシモ産后キモキユシ胸サハキシ或ハ腹ヲクシ或  
痛ニ胸ヲクシモタヘ或ハ寒ニ熱トテサムケ立ホトヲリテ癩  
病ノ如ク手足ヒイラキ痛ハ四物湯ニ延胡索 没藥  
香白芷等分ニ加テ細末シテカヘリ湯ニ醋ヤシ  
入テカキタテタルニテ服ヨ若ハ童子ノ小便ト酒ト等  
分入テアタメタルニテ服スル最上也若崩中下血  
ヤニスハ磐地黄 蒲 各一匁加テ煎服ヨ通逆ニ  
白朮 人參 羊朮ヲ加テヨシ 藏府滑泄トテヒニナ  
ク利下ラハ桂心ヲヒニ炮シタル附子各一分ヲ加テヨ

シモシノンドカワキ水ヲ吞頭痛ハ知母石膏各半匁ヲ加  
テ煎ヨ  
一方ニハ婦人ノ血虚メ心腹ツリ痛テ不可忍ニハ地黄ヲノ  
ヅキテ乾黄ヲ加フ是ヲハ四補湯ト名クモシ老女ツ子ニ風  
秘トテヒヘテシカモ利ノ結スルニハ青皮ヲ等分加テ煎服  
スレハ利心ヨフシテイユ 大黃 桃仁ヲ炙テ加テ服スルニ  
モ快ク下ル也  
又赤利血トテ利ニ下スニハ阿膠 艾葉加テ煎メ服ス是  
ヲ六物湯ト名極効アリ

○佛手散

産前産後通身發頭痛ニ及諸ノ

疾ヲ治ス

産シテワツテハ即チニツ此薬ヲ与ヘヨ而

後ヨノ薬ヲハ服スヘシ此薬ハヨク諸ノ疾ヲ除キ右血ヲ

ステ新血ヲ生ス

川芎ニ分

川當飯ニ分

右細末シテ毎服ニ錢水一盃酒少ハクシテ七分煎メ

温ニテ服ヨ

一方ニキサミアハセテセシテ服ス

産セントセシ時イソキ立テニツ此薬一服セサセヨ産シテワレ

ハヤカテ又服セサセヨ産后ノ三日ノ内ハ毎日三度与フヘシ

一方ニハ川芎 當飯 等分ニ合テ煎服スルヲハ芎飯湯ト

名ク一切失血疾トテ懷妊ノ時服ヤフレテ血ヲ下シ及ヒ隨

胎トテウミナカシテ血ヲ下ス事多及産後ニ多血タリ若ハ血

スナハチ下血トテ大便ヨリ多血下リ心ホトヲリ目クルメ

イテ頭重目クラク頭ヲアクレハタワレントシテキモキハ

スルホヲ悉クニ皆治スモシ産后ニ血アカリテ目クルメキ

シナントセハ此薬ニ芍薬ヲ添テ服ス桂香散ト名ク又産

后ニ腰痛ミテ不可忍ニハ桂心ヲ等分ニ加テ酒ト童

子ノ小便トヲ加テ煎メ与ヘヨ此服スレハ立所ニ効アリ

又當飯湯ト名ク若懷妊ノ胎中ニシテ子死メウニス

及子死ナサレトモ 腹ハタラキテ不安ニハ 每服水ト酒ト一シ  
ヘテセシテ 服スヘシ子ノ既ニ死ニタルニ 昂ウニル子シナサ  
ルハ又胎シツニル此薬ヲハ一名 琥珀散ト名産セシ月ニ  
入ラハ 毎日ニ此ヲ服スヘシ子ヲヤサシテ 産ヲヤスカラシム  
又君臣散ト名ク 婦人室女ノ心腹ツリ痛シ月水不  
調ニハ 水ヲモク 煎メツ子ニ服セヨ 又芍薬散ト名ク  
婦人ノ血氣ヤスカラス 氣上リア 且キシテ 足面ハレ  
タラムニハ 等分ニ細末メ 每服ニ錢 空心ニ艾ヲセンメ  
服ヨ 此方 産后ニ血アカリテ 心ヲツキハラフクレ 氣々ユルモ

ノニアタフル甚効アリ 難産ノ子サカサニニウニレントシ及ヒ  
胎中ニテウニレサルニハ 每服四錢 黑豆一サヲ炒テ水一盃  
童子ノ小便一盃入テ 煎メニ服ニワケテニ度ニ服ヨ 一服  
スルニ昂ウニル 極テ効アリ 産后ノ頭痛及吐血ニハ 荊芥  
ヲクワエテ 煎メ服セヨ 立処ニイユ

○丹參散

此薬ノ功 四物湯トニツタク 同産前産后月水ノ多少病血  
カタニリ及難産墮胎死胎崩中下月水ノ不調冷熱勞  
ヤセ衰ヘタル等ニ通メ 服スルニ極テ効アリ

丹參十々

右細末每服二錢温酒ニテ服ヨ月水不調ニハ

食前ニ服セヨ勢勞ニハ時定ス服スヘシ

〇二聖散

産前ニ是ヲ服スレハ即チ腹ヲヤスウシ産后ニ是ヲ服スレハ  
惡血ヲ下ス服衣下サルニハ服スレハ立所ニ下ル

川芎

羌活

右等分細末メ每服二錢水七

分酒三分アハセテ一盃入テ七沸カヘテカシテ温ニテ服セヨ

頰醫抄卷第七尾



